

事業所名

児童発達支援センターこじか園

支援プログラム（午後グループ）

作成日

2025 年

2 月

1 日

法人（事業所）理念	「和顔愛語の精神で地域福祉に貢献する」					
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が日常生活における基本的動作及び知識技能を習得し、並びに集団生活に適応することができるよう、当該児童の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、適切かつ効果的な支援を行います。 ・事業の実施に当たっては、児童及び利用者の希望を尊重した事業の提供ができるよう努めます。 ・事業の実施に当たっては、地域及び家族との結びつきを重視した運営を行い、関係市町村等と連携を図り、総合的なサービスの提供に努めます。 					
営業時間	(火～金) (土)	14 13 時	45 45 分から	16 15 時	30 30 分まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	安心した環境の中で情緒の安定を図る。自己理解（得意なこと等）で成功体験を積み自信を育む。 基本的生活のスキルの獲得 《場面に合った挨拶を身に付けよう、こんなときどうする？、かっこいいのどっち》				
	運動・感覚	粗大運動を通して、感覚の調整を図る（姿勢バランスや身体の使い方等） 《活動内容：ゴーストストップ、サーキット、だるまさんがころんだ、スイカ割り、雑巾がけ、旗あげ、フープゲーム、大根ゲーム、みんなでオセロ、椅子取りゲーム、陣取りゲーム、リズムあそび、運動カード等》 微細運動を通して目と手の協応動作や、手や指先の操作性を高める。集中力を養う。達成感や成功体験を通して自信を育む。 《活動内容：めいろ、文字遊び、塗り絵、粘土、スライム、お絵描き、ハサミ遊び、ひらがな練習、製作など》				
	認知・行動	数、文字の理解、聞き取る活動（相手が伝えようとしている事を理解する）、伝える活動（自分が考えている事を言葉で表現する）、短期記憶遊び（注意の持続） 《活動内容：しりとり、言葉遊び、記憶あそび、お買い物ゲーム、スリーヒントゲーム、箱の中身はなんだ、借り物ゲーム、お手紙を書こう等》				
	言語 コミュニケーション	気持ちを言語化し、自己表現ができる。適切な言葉で相手に思いを伝える。傾聴態度を整える（相手に注目、聞く、待つ力を養う）。 《旗揚げゲーム、ジャンプゲーム、伝言ゲーム、質問ゲーム、言葉あつめゲーム、役割活動、しりとり、なぞなぞあそび、集団制作、かっこいいのどっち、カップゲーム等》				
	人間関係 社会性	友だち意識を深め、人との関わり方を養う。簡単なルールを理解して遊ぶ。模倣や見立て遊びを拡げる。 《活動内容：自己紹介、大根ゲーム、フルーツバスケット、陣取りゲーム、だるまさんが転んだ、あっち向いてホイ、ウォークラリー、椅子取りゲーム、お買い物体験等》				
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が子どもの特性を理解し、適切な関わり方を身に付けていく。（ペアレント・トレーニングの実施） ・子育ての不安や悩みを早期に解消し、保護者の精神安定をはかる。 ・保護者同士の交流を深め、楽しく子育てできる環境をつくる。 ・きょうだい児に対する相談援助を行う。 			移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の保育、教育等を受けられるように、移行先と支援内容や子どもの状態、保護者の意向についての伝達を行う。 ・進路や移行先の選択についての相談援助。 	
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや家庭に関わる関係機関との情報連携や調整、支援方法や環境調整等に関する会議の開催を行う。 ・未来はばたきネット事業の事務局として、県内の障害児通所支援事業所等へ、研修会の実施や情報共有を行う。 			職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、保育士研修を実施する。また、資格の取得や、専門的な研修会へ参加する等、自己研鑽を図り、支援の質の向上に努める。 	
主な行事等	年間行事：スイカ割り、買い物体験、クリスマス会、卒園式					